

相次ぐ電気料金値上げ、 私たちは困っています。 電力多消費産業の 実情を知ってください。

電気料金の値上げによる電力多消費産業の負担増額は、年間1,600億円。

事実、37社※が倒産、転廃業（鑄造）。

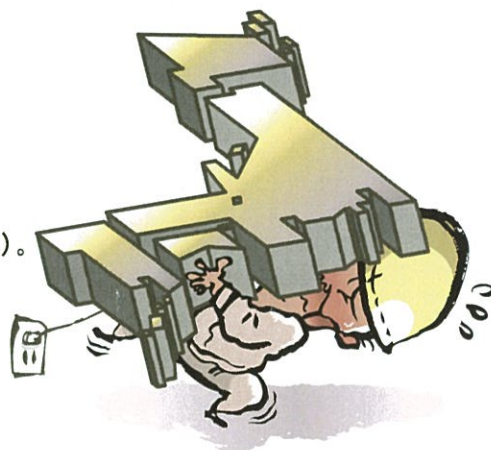
3社が事業撤退（普通鋼電炉）。

新たな事業所はサウジアラビアに建設（チタン）。

さらに人員削減、給与削減が増加（産業・医療ガス、鑄鍛鋼）。

このままでは、日本を支えることができません。

※2012年4月の電気料金値上げ実施以降の合計



私たちが、この国で生き残るための道筋がなくてはなりません。

- ①いつまで耐えればよいのか。私たちにはその判断材料がありません。原子力規制委員会による審査がいつまで続くのか。その見通しがなくてはなりません。そして一刻も早く電気料金を下げるため、安全が確認された原子力発電については、速やかな再稼働を強く要望しております。
- ②再生可能エネルギー固定価格買い取り制度による賦課金負担の拡大は、私たちにとって既に深刻な問題です。一刻も早く、賦課金の上昇に歯止めをかける必要があります。さらに賦課金の軽減措置においては、その適用において公平性が確保されることを強く要望しております。
- ③電気料金値上げの影響を少しでも和らげるため、様々な助成制度の工夫を強く要望しております。

普通鋼電炉工業会 日本鑄鍛鋼会 一般社団法人 日本鑄造協会 一般社団法人 日本チタン協会 日本ソーダ工業会
一般社団法人 日本産業・医療ガス協会 日本鋳業協会 日本金属熱処理工業会 一般社団法人 新金属協会
一般社団法人 日本鉄鋼連盟 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 特殊鋼会

～私たちは、日々の暮らしに不可欠な基礎素材を供給し、日本経済を支えています～